

2009年
安全報告書



大山観光電鉄株式会社

目 次

ご利用の皆様へ	1
安全基本方針と安全に係る行動規範	1
安全目標	2
安全重点施策	2
安全管理体制	3
事故等の状況と再発防止措置	
1. 鉄道運転事故	4
2. 災害	4
3. 輸送障害	4
4. インシデント	4
行政指導等に対する措置の状況	5
安全確保のための措置	
1. 異常時総合訓練	5
2. 教育訓練状況	6
3. 設備投資状況	6
利用者等とのコミュニケーション	7

ご利用の皆様へ

当社は、小田急グループの一員として、「お客様の『かけがえのない時間』と『ゆたかな暮らし』の実現に貢献します。」というグループ経営理念のもと、関係法令を遵守し、安全を第一として良質な輸送サービスに心掛けております。お蔭様で、昨年（2008年）10月、関東運輸局長より31年間、連続9期の運転無事故表彰を受けることが出来ました。

また、お客さまに分かりやすくご利用いただくために全駅（3駅）の駅名を変更いたしました。

会社は、企業活動を通じて社会に貢献するとともに、社会から信頼されることが顧客第一主義に通じると考え、コンプライアンスの構築にあたっては「リスクの存在」を前提として早めに察知し、是正することを主眼に「情報は曲げず、隠さず、遅らせず」の徹底を図っております。

一方、当社沿線は台風などの自然災害を受けやすい立地から、落石、土砂流入などを防止するための設備増強と、災害発生時に迅速、確実に対応できるよう教育・訓練を重ねております。

本報告書は、鉄道事業法第19条の4に基づき、安全輸送に対する取り組みや実態について、自らを振り返るとともにご利用の皆様にも広くご理解いただくために作成したものです。皆様からの声を輸送の安全に役立てたく、ご意見、ご感想を頂戴できますれば幸いです。

大山観光電鉄株式会社

取締役社長 北村 公男

安全基本方針と安全に係る行動規範

当社は、輸送の安全の確保を第一とし、安全基本方針は次のとおりとなっております。

1. 輸送の使命は安全輸送であるとの認識に立ち、全ての事業に最優先する。
2. 施設・車両等の整備は、万端怠りなく実施し、安全の確保に努める。

また、社長を始めとする役員及び社員の安全に係る行動規範は、次のとおりです。

1. 輸送の安全に関する状況については、常に把握し理解するよう努める。
2. 情報は透明性を確保し、漏れなく迅速、正確に伝える。
3. 常に問題意識を持ち、必要な変革に果敢に挑戦する。

安全目標

当社は、鉄道事故で最も多い踏切がないことから、定量的な目標として列車運転事故ゼロを永遠のテーマとしております。

安全重点施策

安全目標を達成するため、当社では安全重点施策を定めて取り組んでおります。

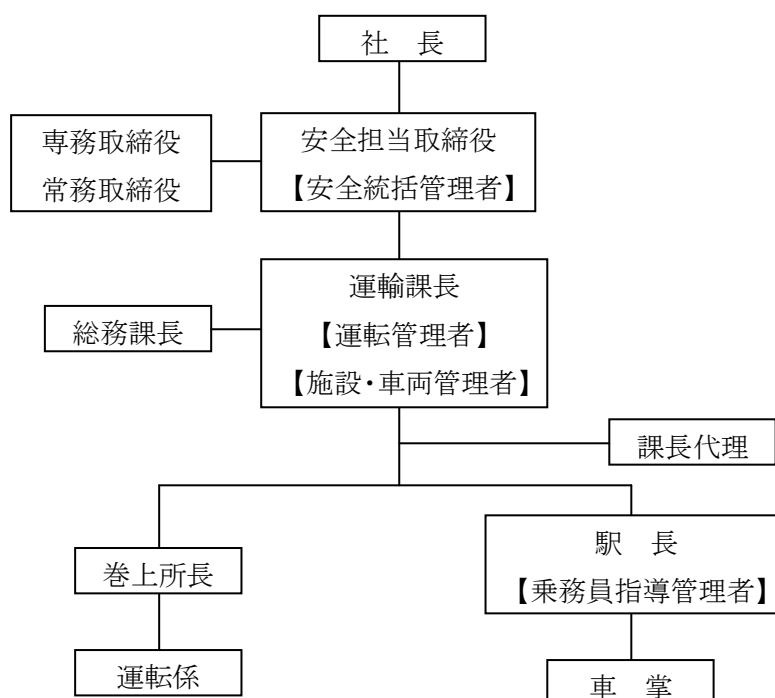
1. 2008年度実績

- (1) 老朽化した高圧配電線路について、残り二分の一をケーブル化いたしました。
- (2) 落石と土砂流入を防止するための防護網について、大山寺駅下に新設いたしました。
- (3) 線路内から崖下への転落を防止するための安全柵を、女坂隧道上と第一電車橋上に新設いたしました。

2. 2009年度計画

- (1) 線路内への土砂流入を防止するための土留め柵について、老朽化のため交換・補強いたします。
- (2) 老朽化した低圧配電線路についてケーブル化するとともに、線路内の照明について1基おきから毎基へと増設いたします。
- (3) 夜間歩行者の安全確保を図るため、大山寺駅跨線橋・参道及び阿夫利神社駅参道に通路照明を新設いたします。
- (4) 線路内から崖下への転落を防止するための安全柵を、第一電車橋下に新設いたします。

安全管理体制



役 職	役 割
社 長	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う。
安全担当取締役 【安全統括管理者】	鉄道施設、車両、運転取り扱いの安全性及び相互の部門間の整合性を確保するとともに、安全確保を最優先し輸送業務の実施及び各管理部門を統括管理する。
運輸課長 【運転管理者】 【施設・車両管理者】	安全統括管理者の指揮の下、運行計画の設定及び変更、乗務員の運用、列車の運行の管理、運転係及び乗務員の育成並びに資質の保持その他運転に関する業務を管理するほか、施設及び車両の維持管理に関する事項を統括する。
駅 長 【乗務員指導管理者】	運転管理者の指揮の下、車掌の資質の維持に関する事項を管理する。
巻上所長	運転管理者の指揮の下、運転係の資質の維持に関する事項を管理する。



社長現業巡視

事故等の状況と再発防止措置

1. 鉄道運転事故

2008年度鉄道運転事故の発生は、1件もありませんでした。
なお、過去5年間も鉄道運転事故の発生はありませんでした。

2. 災害（地震や暴風雨、豪雪など）

2009年3月14日12時02分、雨による土砂流出のため落石警報装置が発報したので運転を停止しました。再度土砂流出が発生したため1本運休いたしました。その後運転には支障がないので通常運転に戻りました。

2008年度は、この1件でした。

3. 輸送障害（30分以上の遅延や運休）

輸送障害は、1件もありませんでした。

4. インシデント(事故の兆候)

2008年度、国土交通省へのインシデント報告も含め、1件もありませんでした。

行政指導等に対する措置の状況

2008年度、国土交通省よりの行政指導はありませんでした。

安全確保のための措置

1. 異常時総合訓練

土砂崩れ発生による緊急停止により乗客に怪我人が発生したとの想定のもと、安全統括管理者を始め各現業が参加して異常時総合訓練を実施いたしました。



負傷者応急手当



乗客救出



負傷者救出

2. 教育訓練状況

事故処置訓練として、【障害物発見による緊急停止】、【運転中停電による緊急停止】を実施したほか、【地震発生時の扱い】について昨年度に引き続き実施しました。

3. 設備投資状況

安全の維持管理のため、安全関連設備への投資や施設・車両の修繕費として、営業収入の1割強にあたる21百万円を充てました。



高圧配電線ケーブル化



落石防護網新設



転落防止柵新設

利用者等とのコミュニケーション

本報告書へのご感想や、当社の安全への取組みに対するご意見をお寄せください。

お問い合わせ先

大山観光電鉄株式会社

電話 0463-95-2135（土日祝を除く9:00～16:30）

ファクス 0463-95-2482

〒259-1107 神奈川県伊勢原市大山667